

緊急開催 「武器としての国際人権 日本の貧困・報道・差別」出版記念講演

「国際人権」の基準で考える

私たちの人権意識と日本の貧困・報道・差別



藤田早苗さん

十分に食べること、安心して眠る場所があること、自由にどこでも行くこと、学ぶこと、必要な情報を得、考え、表現すること。私たちは、生活のあらゆる場面において人権を「行使」しています。しかし、コロナによって拡大した貧困問題、損なわれ続ける報道の自由、なくなる女性や障がい者の差別、入管の問題、朝鮮学校無償化排除……そして、秘密保護法・共謀罪。そうした問題の根幹には、政府が人権を保障する義務を守っていないことにあります。でも、一方で私たち自身の人権意識はどうでしょうか。何かを理由に、仕方がないと考えていないでしょうか。

著者藤田早苗氏に、これら問題を「国際人権」の視点で実例をあげながらひもといいただきます。私たちも「国際人権」を自分のものにし、誰もが尊厳をもって生きられる社会を目指しませんか。

藤田早苗プロフィール: 英国エセックス大学人権センターフェロー。同大学で国際人権法学修士号、法学博士号取得。名古屋大学大学院国際開発研究科修了。アカデミック・アクティビスト。大阪府出身、英国在住。特定秘密保護法案(2013年)共謀罪法案(2017年)を英訳して国連に通報しその危険性を周知。2016年の国連特別報告者(表現の自由)日本調査実現に尽力。著書に *The World Bank, Asian Development Bank and Human Rights* (Edward Elgar publishing 2013)、『武器としての国際人権:日本の貧困、報道、差別』(集英社新書2022年)がある。世界の風景を「切り撮る」写真家でもある。

日時: 2023年2月9日(木曜) 18:30~20:30

会場: 日本キリスト教団 **松山教会**

愛媛県松山市味酒町2-7-1

資料代:500円・参加申込不要

問い合わせ:

「武器としての国際人権」著者 藤田早苗さんと考える会

090-5272-8096(木下)

高知でも開催!

日時: 2月10日(金) 18:30-20:30

場所: こうち男女共同参画センター「ソーレ」

